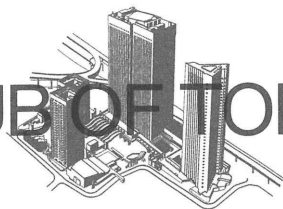




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年5月28日 第841回例会

◎卓話

「最近の中国進出事情」

(株)みずほコーポレート銀行 顧問 菅野真一郎氏
(紹介者 西澤正雄会長)

【先週報告】5月21日 第840回例会

◎副会長報告

5月合同理事会で協議した結果、クラブ名称についてのアンケートを再度調査することになりました。当クラブの将来を展望し、一層の活性化を期する観点から、慎重を期する意味も踏まえて再度アンケートを実施し、その結果を今後の進め方の一助にしたいと思います。皆様のご協力をお願い致します。

◎幹事報告

①第6回・次年度第1回クラブ協議会開催のご案内
(日 時) 6月11日(金) 例会後13:10～15:00
(会 場) 東京全日空ホテル B1 オーロラ
(テーマ) 「本年度各委員会活動報告・次年度各委員会活動計画」
全会員のご出席をお願い申し上げます。

尚、本年度各委員長は、「各委員会活動報告書」を6月4日(金)までに事務局へご提出下さい。

②6月4日の合同理事会出欠の返事をお願い致します。

③大阪国際大会に参加の皆様は登録証持参を忘れないようにして下さい。

◎親睦活動委員会(圓谷委員長)

新会員の方々のロースターの作成を行います。変更箇所の或る人は連絡して下さい。また顔写真を6月4日までに提出して下さい。

◎出席報告

会員64名／出席43名・欠席21名(出席規定免除者8名)
ビジター 2名・ゲスト1名

【次週予告】6月4日 第842回例会

◎卓話予定

「びっくり英語」

日本英語交流連盟会長(ESUJ) 英 正道氏
鹿島建設株式会社 常任顧問
(紹介者 石坂会員)

◎卓話

(2004年5月21日例会)

「『奉仕の哲学』を翻訳して」

元当クラブ会員(チャーターメンバー) 宮本正祥氏
株式会社宮本工業所代表取締役



現在の日本社会は秩序が乱れて事件や不祥事が多発しています。その精神腐敗の治療には、哲学が必要とされているのではないかと。

『奉仕の哲学』(アーサー・フレデリック・シェルドン著)の翻訳は、故田島一郎さん(当クラブ元会長)より

依頼され、小誌となった。

翻訳するには種々の復習が必要となり、良い勉強となりました。『奉仕の哲学』を理解出来たと思うことの内、三つの点をお話します。

(1) ロータリーは宗教ではない。

シェルドンの標語の根幹は黄金律でキリスト教と疑われる。しかし、世界7大宗教の教えは全て同じであり、従って宗教ではなく、洋の東西を問わず、人類の共通する倫理である。しかし、黄金律の言い回しは宗教と思われ易いので、ポール・ハリスがロータリーの文書中に、黄金律を登載することを禁止した。

これに変わる規準として、シカゴRCのハーバード・テラーが、黄金律をPRAGMATIC(哲学の実用主義)に置き換えた。そして、「4 Way テスト」を当時のRI 理事であるリチャード・ヴァナーが、ロータリーの倫理規準として取り入れた。

「4 Way テスト」は宗教色が消えた。

(2) 利益の概念と標語は理解するのに難しくない。

シェルドンの哲学は、当時のシカゴの実業界における、ある事実関係に裏付けされて構築されたもので、空想ではない。一番良く人々に尽くしている企業が、一番安定的な利益を得ていたのは、人に尽くす事(手段)と利益(目的)には法則的な関係があると信じたのです。この手段を執れば相手から感謝され、敬愛の念を得られる。これは精神的報酬であり、目的である物質的報酬の双方をして始めて本来の PROFIT 言うのです。

シカゴの例に戻りますが、一番良く人に尽くしていた会社が、一番多く利益を得ていた。一番良く奉仕していた会社が、一番多くの儲けを出していた。

従って「最も良く奉仕するもの、最も多く報いられる。」この標語は勉強すれば理解するのに難しくはないと思います。

(3) ロータリーの伸び行く悩みと言われる職業奉仕と社会奉仕のバランスについて。

ロータリー根幹は職業奉仕であるが、その一方で社会から評価されることが大切だと言われてきた。もしそうであるなら、社会奉仕に取り組むことも必要である。

この件についてポール・ハリスは、「異種奉仕行動に関する比較計量の問題は、長く諍議議論されてきた。クライマックス

は、23-34であった。」と記しています。

決議23-34では、両奉仕活動が、奉仕の大道を構成する重要な AVENUE として、思想の対立を鎮圧しました。

実際この両奉仕活動のバランスはどう取るべきか？

答えは2つあると思います。①ロータリアンは社会奉仕のアマで、職業奉仕のプロでなくてはならない。職業奉仕については議論するのではなく実践するものと言われる所以です。

②その時の社会情勢の必要性に応じて、選択することが基本です。

最後にこの問題を今の日本社会に当てはめたらどうなるか？日本は長年経済大国と言われ持てはやされてきた。そして、物質的、経済的な部分のみに、その価値観を見出す人種となった。その一方で、大国と言われた思い上がり、驕りで、不況が到来し、精神の腐敗が始まり、歯止めがかからなくなった。種々の奉仕活動が必要とされているが、ロータリー以外の団体も色々な分野で活動している。

従って、今こそロータリーの根幹である職業奉仕を、心してプロの自覚を持って、実践して行くことが、社会秩序を取り戻すための、地道ではあるが最善の治療方法であると考えます。

故に、アーサー・フレデリック・シエルドンの哲学の出番ではないでしょうか？

(宮本氏より卓話の原稿を頂戴しました。)

R I 第2750地区2004～2005年度地区協議会

(前号、前々号に引き続き)

第3分科会／職業奉仕部会

次期職業奉仕委員長 尾関 武男

職業奉仕部会は、カウンセラーに、秋山一パストガバナーを迎え、上條正夫次期地区職業奉仕委員長をリーダーに開催された。

- ① 職場、地域における職業倫理の高揚
- ② 職業分類の再検討と整備
- ③ 職業奉仕月間(10月)を盛り上げよう
- ④ 各クラブの特性を生かした、職業奉仕活動の推進

以上4つのテーマに基づいて各グループ(6グループ、1グループ10人編成)毎に、次期職業奉仕委員長の抱負・意見・質疑応答があり、熱心に討議された。

秋山カウンセラー(調布RC)は、ロータリーの四大奉仕とは、ロータリーを大樹にたとえると、クラブ奉仕は根であり、職業奉仕は幹であり、その先に枝葉となる部分が社会奉仕、国際奉仕と云う形にあらわされる、しかるに職業奉仕こそがロータリーの根幹であり職業が奉仕そのものである。(ボケショナルサービス)その結果、世の為、人の為に自分の職業が役立っているのか、倫理的に高める努力をすることが重要である。という含蓄の深い話があった。

あるグループの発表に印象に残ることがあった。

職業奉仕委員会を含めた、四大奉仕委員会の活動は、前年の活動を引継いでいるのが大半で、本来はその年の委員長が独自の奉仕活動を考え、ある団体に寄付するとか、企業視察、研修等の活動は、本来の奉仕活動とはいえないのではないかという意見がありました。

また、上條正夫次期地区職業奉仕委員長より、参加者全員に南RCが作成した職業分類資料が配布された。

その後、新しい時代の職業奉仕活動はどうあるべきか等々の質問もあり、難しい時代のロータリーの職業奉仕はどうあるべきか、強く考えさせられた一日でありました。(了)

5月本年度・次年度合同理事会議事録

日 時 5月14日(金) 例会後13:50～15:00

場 所 東京全日空ホテル 1F かすみ

出席者 西澤(正) [本年度・次年度]、小杉(眞)、開発、立林、土屋、圓谷、村山 [以上本年度] 入沢、新保 [以上本年度・次年度] 石井、岩上、小杉(修)、尾関、高須、尾上、庄司 [以上本年度] (敬称略・順不同)

決議事項

1. 退会希望の件／松田公太君

業務繁忙により同君の退会を2004年6月30日付けで承認。

2. 第6回・次年度第1回クラブ協議会(6/11)の件を次の通り承認。

- ① テーマ「本年度各委員会活動報告と次年度各委員会活動計画」
- ② 本年度各委員長には「委員会活動報告書」を提出して頂く。(6/4迄 事務局)

3. 次のクラブ寄付を承認。

- ① ロータリー財団年次寄付 \$ 2,000、ポリオ撲滅 \$ 1,000
- ② ヤップ島台風被害者への援助 20,000円

4. ロータリー-日比友好援助プロジェクト[継続活動] 運営経費 20,000円の支払を承認。

5. 最終例会(夜間例会)・新会員歓迎会・打上げ会(6/25)のプログラム、予算案を承認。

報告事項

1. 副会長報告／クラブ名称に関する再度の「アンケート」実施の件

2. 幹事報告

- ① 東京新橋RC会長ご逝去に際して、香典を贈呈。(4/27)

- ② 東京神宮RCからの15周年記念式典ご招待(会長・幹事)の件 従来通り、千代田グループ関係行事に参加とする。

3. 会計報告／4月末

地区大会協力金一部が地区よりの(1,000×68—振込手数料 840=67,1609)返戻金の件

4. 国際奉仕委員会報告(土屋委員長)

05～06学年度R財団国際親善奨学生に合格した林智栄実さんより留学辞退の件

5. 社会奉仕委員会報告(立林委員長)

チャリティバザー収益金(一部)を風の子会へ寄付する件

6. 次期会長報告／100周年実行委員会終結の件

次年度

1. 2004～2005年度理事・役員・委員会構成(案)の件

2. 2004～2005年度行事計画(案)の件

ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会 9/10 (金)

ガバナー公式訪問／東京南・東京新南合同例会

9/16 (木) 例会場:東京會館



5月7日 /18件 41,000円

2003～2004年 累計 1,263,649円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

宮本正祥(元会員)／お久しぶりです。西澤正雄・小杉眞史・小澁雅亮・村山公士・岩上義明・荒木昭文・吉岡琢磨・圓谷正和・開発英基・福島賢哉・高須康有・西澤民夫・庄司康典／宮本さんお久しぶりです。卓話よろしくお願ひします。渡部一元／宮本さん今日は。懐かしい思い出一杯です。明後日・5/23は佐藤元会長の命日です。椎名康充／次年度親睦委員の皆様先日はありがとうございました。藤後幸生／庄司さんニコニコご苦労様です。尾上寛／無事第1回SAA打合せが本日出来ました。

(紙面の都合でコメントを纏め省略させて頂きました)

会員事業所変更のお知らせ／二宮利泰君

(新商号) 大和薬品株式会社

(役職名) 取締役会長 (変わらず)

(TEL) 5430-4050 内線 30

(FAX、所在地等は変わらず)

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

[会長] 西澤正雄 [副会長] 小杉眞史 [幹事] 村山公士 [会報委員長] 石井謙次 [今週の担当] 庄司泰典
事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場／毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111